

シラバス情報

1 ページ

科目情報

科目名称	「街」の姿を描く～街路の現在～（地域実践演習）			配当年次	1	授業コード	A220230011
開講年度	2017	単位数	2.0	開講時期	後期授業	科目分類	教養科目

代表教員情報

(カナ) 教員氏名	(マエガワマサユキ) 前川 真行
--------------	---------------------

担当教員情報

前川 真行

時間割情報

木曜2コマ	B3-304		

メールアドレス等連絡先

maegawa@las.osakafu-u.ac.jp

オフィスアワー

木曜12:05-12:55（つまり講義終了後）ただし、ほぼ毎日学校にはくるので、それ以外の時間でもメールでアポイントを取ってもらえれば可能な限り対応します。

授業目標

ここで授業タイトルを「「街」の姿を描く」としたのは、まずは一足飛びに問題解決やあるいは提言を目指すのではなく、まずは都市や都市を構成する単位としての街路の現状を、「理解」することを目的としたいからです。つまり、もちろん一定の準備は行ったうえで、実際に街路に出て、みずから体験することを通じて、その街の現状を把握し、できれば問題点ないしは課題の把握まで到達することをこの演習の目的とします。

教科書

なし

参考書

なし

関連科目

--

授業時間外の学習

講義中に指示される課題発表について、担当回まで準備、印刷を済ませておくこと。

授業概要

「街」の姿を探るというテーマを掲げていますが、この演習では府大の位置している堺市のいくつかの商店街を取り上げて、それぞれの課題と現状を把握することを目指します。
 そのために、まずは今日、一般的に都市でどのようなことが問題になっているのかということ、いくつかの文献を通じて把握します。
 第2に、そうした一般的な問題から、今度は具体的に個別の商店街がどのようになっているのかを「観察」することを通じてその現状を把握します。
 最終的には、個人個人が単独で行うのではなく、複数人のチームを組んで同一の課題に複数の視点でアプローチすることを通じて、グループワークを経験しつつ、現状の理解と課題の把握を行います。

成績評価

成績評価はもちろん平常点です(もちろん課題発表を含みます)。発表時にどのような発表をしたかだけでなく、自分の発表ではないときに、きちんと他人の発表が理解できて、それにたいしてどのように反応し、どんな議論の場を作れたかも重要になります。
 それらを勘案した上で、(調査等)十分な準備の上で発表に望み、また他の発表においても積極的に議論に参加しえたならば(A)が、さらに他人と比していずれかの点で(緻密な準備等)特段の貢献がなされれば(A+)が与えられます。発表そして議論への参加、それぞれの内容が、どちらか一方だけに偏れば、その度合いに応じてB(やや物足りない)、またはC(物足りない)が与えられ、いずれも不十分であればDとなります。

備考

それほど多額ではないが、交通費などは個人負担となる場合もあります。
 シラバス上では実地踏査を4回分とっているが、日程調整をして、実際に現地に行くので、水曜4コマという時間内で行うものではないので、注意すること。
 なお、「地域実践演習」の履修には、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任 保険(羽曳野キャンパスの学生はWi112に加入)に加入することを条件とします。学生課学生サポートグループ(羽曳野キャンパスは事務所・学生グループ)において手続きしてください。

URLリンク

URLリンク 1	
URLリンク 2	
URLリンク 3	

授 業 計 画

授業計画
第1回

ガイダンス

準備学習